



2019年10月11日

各位

会社名 ニッケ（日本毛織株式会社）
代表者名 代表取締役社長 富田 一 弥
（コード番号 3201 東証第一部）
本社所在地 大阪市中央区瓦町3丁目3番10号
問い合わせ先 経営企画室長 水口 雅 雄
（TEL. 06-6205-6610）

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年10月11日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2019年7月12日の2019年11月期第2四半期決算発表時に開示した2019年11月期（2018年12月1日～2019年11月30日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正（2018年12月1日～2019年11月30日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	120,000	9,000	9,300	6,300	86.66
今回修正予想（B）	120,000	9,500	10,000	6,300	86.66
増減額（B-A）	—	500	700	—	
増減率（%）	—	5.6	7.5	—	
（参考）前期連結実績 （2018年11月期）	110,538	8,368	9,128	5,274	72.26

2. 修正の理由

売上高につきましては、衣料繊維事業において下振れが見込まれるものの、車載電装品他製造ラインのファクトリーオートメーション設備（FA）の受注が順調な産業機材事業、建設関連の受注増と販売用不動産の売却が寄与した人とみらい開発事業の増収から、全体では前回予想どおりの見通しです。

営業利益につきましては、衣料繊維事業では販売減をコスト削減等によりカバーするとともに、FAが好調な産業機材事業および新規グループ会社の業績が寄与している生活流通事業が増益、人とみらい開発事業の販売用不動産の売却益も貢献し、前回予想を上回る見通しです。なお、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、構造改善費用等を見込み前回予想どおりの見通しです。

過去最高の売上利益を計上した前期を上回り、RN（リニューアル・ニッケ）130第1次中期経営計画を達成する見込みであります。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上